

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月12日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画担当 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	13,631	△22.8	△564	—	△472	—	△980	—
2020年2月期第2四半期	17,659	△5.5	419	△69.5	419	△69.7	△66	—

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 △1,016百万円 (—%) 2020年2月期第2四半期 △177百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	△57.75	—
2020年2月期第2四半期	△3.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	41,180	22,884	52.8
2020年2月期	34,591	24,749	68.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 21,736百万円 2020年2月期 23,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	△10.7	2,100	△35.3	2,200	△33.9	600	△50.4	35.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	17,185,650株	2020年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	201,593株	2020年2月期	201,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	16,984,130株	2020年2月期2Q	16,984,165株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの企業活動や消費動向に影響を与え、依然として終息が見えないことから景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響による店舗の状況につきましては、4月7日に発令された緊急事態宣言対象区域である7都府県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・大阪府・兵庫県・福岡県）内全ての240店舗で4月11日から臨時休業し、その後、4月16日に緊急事態宣言の対象区域が全国に発令されたことを受け、4月20日から全都道府県内の489店舗を臨時休業いたしました。当第2四半期連結会計期間末時点では、安全対策を万全にした上で全店舗が営業を再開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,631百万円（前年同期比22.8%の減少）、営業損失は564百万円（前年同期は419百万円の営業利益）、経常損失は472百万円（前年同期は419百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は980百万円（前年同期は66百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、緊急事態宣言の全面解除後、安全対策を万全にした上で順次営業を再開し、臨時休業中にお越しいただけなかったお客様を中心に撮影件数は回復してまいりましたが、撮影件数は前年同期間を下回りました。経費面につきましては、家賃の減免交渉など各種経費の削減に努めてまいりました。

国内写真館の出店状況は、移転2店舗、退店6店舗をおこない、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を35店舗実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館487店舗（直営店舗478店・フランチャイズ店舗9店）、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、489店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は13,603百万円（前年同期比22.5%の減少）となり、セグメント損失は541百万円（前年同期は459百万円のセグメント利益）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、引き続き当社向け衣装の更なる生産効率の向上によるコスト低減を図るとともに、当社が2020年1月にスタートした成人式革命『ふりホ』に関わる衣装・小物の調達に注力いたしました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は1,670百万円（前年同期比49.7%の増加）となり、セグメント利益は198百万円（前年同期比58.2%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ6,589百万円増加の41,180百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比べ5,815百万円増加の21,023百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産「その他(純額)」に含まれるリース資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ774百万円増加の20,157百万円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ8,455百万円増加の18,296百万円となりました。

流動負債は、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、企業活動の混乱や停滞等が継続するような不測の事態に備えて、手元資金を厚くすることを目的に行った短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ7,730百万円増加の13,657百万円となりました。

固定負債は、退職金規程の改訂による退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ725百万円増加の4,638百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,865百万円減少の22,884百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び前連結会計年度の剰余金の処分(配当金支払い)などによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5,062百万円増加し15,674百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、402百万円(前年同期は369百万円の増加)となりました。主な内訳は減価償却費1,612百万円、前受金の増加額408百万円、法人税等の支払額465百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、2,564百万円(前年同期は3,614百万円の減少)となりました。主な内訳は、写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,664百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、7,226百万円(前年同期は566百万円の増加)となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額7,650百万円、配当金の支払額849百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期連結業績予想および配当予想につきましては、新型コロナウイルスの影響について合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年10月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,072,650	16,135,277
受取手形及び売掛金	838,574	1,094,714
たな卸資産	1,803,783	1,520,213
その他	1,523,508	2,298,483
貸倒引当金	△30,000	△25,000
流動資産合計	15,208,516	21,023,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,302,333	8,021,942
その他(純額)	4,377,273	5,164,849
有形固定資産合計	12,679,606	13,186,791
無形固定資産	991,874	901,895
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,316,671	3,312,079
その他	2,616,532	2,978,425
貸倒引当金	△222,000	△222,000
投資その他の資産合計	5,711,204	6,068,504
固定資産合計	19,382,685	20,157,191
資産合計	34,591,201	41,180,880
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,225	442,184
短期借入金	—	7,650,000
未払法人税等	581,165	231,695
賞与引当金	182,332	341,337
ポイント引当金	92,500	97,080
その他	4,831,377	4,895,426
流動負債合計	5,927,600	13,657,723
固定負債		
退職給付に係る負債	1,102,910	1,232,083
資産除去債務	1,651,339	1,647,127
その他	1,159,502	1,759,605
固定負債合計	3,913,753	4,638,815
負債合計	9,841,353	18,296,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	19,866,198	18,036,148
自己株式	△276,159	△276,330
株主資本合計	23,531,438	21,701,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,407	△29,404
為替換算調整勘定	73,058	65,125
その他の包括利益累計額合計	74,465	35,720
非支配株主持分	1,143,944	1,147,403
純資産合計	24,749,848	22,884,341
負債純資産合計	34,591,201	41,180,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	17,659,477	13,631,814
売上原価	13,619,156	11,265,955
売上総利益	4,040,321	2,365,859
販売費及び一般管理費	3,620,944	2,930,269
営業利益又は営業損失(△)	419,376	△564,409
営業外収益		
受取利息	1,100	1,170
受取配当金	—	9,129
受取家賃	11,175	11,026
受取補償金	16,622	1,736
為替差益	—	966
助成金収入	—	101,971
雑収入	12,366	23,181
営業外収益合計	41,264	149,181
営業外費用		
支払利息	7,994	14,905
店舗解約損	26,651	41,968
為替差損	2,605	—
雑損失	4,202	683
営業外費用合計	41,454	57,557
経常利益又は経常損失(△)	419,187	△472,785
特別利益		
固定資産売却益	229	2,301
特別利益合計	229	2,301
特別損失		
固定資産廃棄損	171,529	140,997
減損損失	128,976	129,607
新型コロナウイルス感染症による損失	—	496,685
特別損失合計	300,506	767,290
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	118,911	△1,237,773
法人税、住民税及び事業税	235,434	138,480
法人税等調整額	△82,247	△398,870
法人税等合計	153,187	△260,390
四半期純損失(△)	△34,275	△977,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,301	3,458
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,577	△980,842

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△34,275	△977,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,698	△30,812
為替換算調整勘定	△47,483	△7,933
その他の包括利益合計	△143,181	△38,745
四半期包括利益	△177,457	△1,016,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△209,758	△1,019,587
非支配株主に係る四半期包括利益	32,301	3,458

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	118,911	△1,237,773
減価償却費	1,635,731	1,612,336
のれん償却額	399	399
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,380	△5,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	147,259	159,005
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,561	129,172
受取利息及び受取配当金	△1,100	△10,299
支払利息	7,994	14,905
為替差損益(△は益)	△657	△302
固定資産売却損益(△は益)	△229	△2,301
固定資産廃棄損	171,529	140,997
減損損失	128,976	129,607
売上債権の増減額(△は増加)	△268,590	△257,373
たな卸資産の増減額(△は増加)	155,137	279,974
仕入債務の増減額(△は減少)	52,343	202,144
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,086,288	△333,248
前受金の増減額(△は減少)	351,422	408,852
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△384,241	△361,433
その他の流動負債の増減額(△は減少)	246,262	△61,390
その他	12,241	61,314
小計	1,328,044	869,586
利息及び配当金の受取額	71	9,274
利息の支払額	△7,994	△14,905
法人税等の支払額	△950,865	△465,571
法人税等の還付額	—	4,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	369,256	402,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,229,921	△2,427,748
有形固定資産の売却による収入	230	3,110
無形固定資産の取得による支出	△279,666	△134,276
投資有価証券の取得による支出	△1,012,211	—
貸付金の回収による収入	600	—
敷金及び保証金の差入による支出	△108,592	△102,528
敷金及び保証金の回収による収入	64,598	141,349
その他	△49,297	△44,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,614,261	△2,564,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300,000	7,650,000
セール・アンド・リースバックによる収入	798,100	1,171,788
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△681,904	△745,619
自己株式の取得による支出	△6	△170
配当金の支払額	△849,208	△849,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	566,981	7,226,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,281	△2,700
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,681,304	5,062,626
現金及び現金同等物の期首残高	11,966,157	10,612,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,284,852	15,674,779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2020年4月7日に新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が政府から発表され、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大されたことにより、全国の当社店舗は臨時休業となりました。5月14日の緊急事態宣言解除以降、安全対策を万全にした上で順次営業を再開しており、ご予約数も昨年並みに回復いたしました。

このような状況のなか、記念写真需要はゆるやかに回復していくものと仮定しておりますが、感染拡大前の水準まで回復するには12月まで要するものと想定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,533,887	125,590	17,659,477	—	17,659,477
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,783	990,195	1,003,978	△1,003,978	—
計	17,547,671	1,115,785	18,663,456	△1,003,978	17,659,477
セグメント利益	459,441	125,521	584,963	△165,586	419,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,586千円には、固定資産の調整額等△53,529千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△112,056千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては128,976千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2020年3月1日 至2020年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,597,224	34,590	13,631,814	—	13,631,814
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,767	1,635,915	1,642,683	△1,642,683	—
計	13,603,991	1,670,506	15,274,498	△1,642,683	13,631,814
セグメント利益又は 損失(△)	△541,403	198,580	△342,822	△221,586	△564,409

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△221,586千円には、固定資産の調整額等△113,273千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△108,313千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては129,607千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。